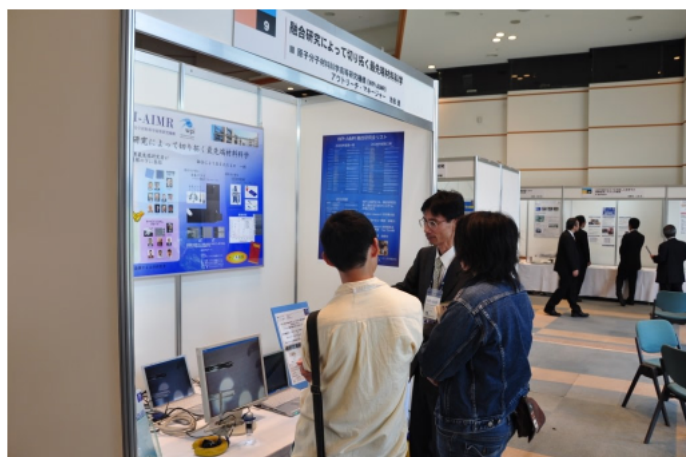


東北大学イノベーションフェア2010 in仙台

平成22年10月18日（月）、原子分子材料科学高等研究機構が、東北大学のイノベーションフェアに出展しました。当機構では、材料科学に関係する様々な分野の世界トップレベル研究者が集い、融合により研究上のブレイクスルーを達成することを目指しています。今回の出展では、「融合研究によって切り拓く最先端材料科学」と題して、機構内でのどのような融合研究が行われているのかを紹介しました。ブースにお立ち寄りくださった皆様に御礼申し上げます。



WPIの融合研究について

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)では、イノベーションを生み出すための柱の一つに「融合領域の創出」を掲げています。複数の基礎分野にまたがる融合領域の研究から、従来の学問では期待できなかったようなブレイクスルーやパラダイムシフトとなるような研究が生まれることを期待しているからです。当機構は、「バルク金属ガラスグループ」、「材料物理グループ」、「ソフトマテリアルグループ」、「デバイス/システムグループ」の4つのグループで構成されています。当機構では、これらの異なるグループ間で年間30件程度の融合研究を企画し、知識の融合、技術の融合を積極的に行い、これまでには思いつかなかったような発想で、新しい学問領域を開拓しています。

WPI-AIMRでの融合

